

～とある休日での出来事から～

休日は娘たちと出掛けるのが私の楽しみの1つである。お洒落なカフェでスイーツを堪能したり、話題の映画を観たり…。流行に敏感な若い娘たちと、あーだこーだ言いながらショッピングするのもとても楽しい。娘たちと出掛けると言うより、娘たちが出掛ける際ついでに私も一緒に連れ出してくれる…そう言う方が正しいのか？理由はどうあれ娘たちが一緒に休日を過ごしてくれることをとても嬉しく思う。

先日も一緒にショッピングモールへ出掛けていた。若い姉妹はどれだけ歩いても元気だが、私は「ちょっと休憩」と1人ベンチで休みながら待つことにした。休日は家族連れや友人同士などで大変な賑わいだったが、丁度周りを見渡した時に1つベンチが空き「ラッキー！」と私は腰をかけた。

数分経った頃、私の隣りに幼い男の子が座った。目が合うとニッコリ♥

その可愛らしい男の子の後を追うようにお母さんがゆっくりと歩いてきて男の子の横に立ったので、バッグに付いているマスコットが目に入った。それは“マタニティマーク”だった。私が「どうぞ」と席を立つとお母さんは笑顔でお礼を、男の子もママの真似して笑顔でペコリとお辞儀をしてみせた。なんとも愛らしくて気持ちも明るくなった。

まだお腹が目立たない妊娠初期の妊婦さんが、マタニティマークを表示することで周囲も理解し、配慮したり譲り合えたり…お互いが優しい気持ちと環境を作ることができると思う。今回のように体調の状態だったり、他者からは分かりにくい病気や障がいなどを周囲の人に知らせることで助け合えることができるのだから、マークでの意思表示は「やっぱり大切だなあ」と改めて感じた。そして微笑ましい親子の笑顔に胸がほっこり癒やされた週末の出来事であった。

PN. ミーさん

